

## 育成を目指す資質・能力

県内の伝統や文化について、地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習課題を追究・解決しようとする態度や地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることを考えようとする態度を養う。

## ICT活用のポイント

共同編集機能を使って複数の班員が同時に作成を行い、1枚の魅力発表シートを完成させる。

### 【つかむ】

群馬県の『魅力』について  
興味をもつ

## 事例の概要

○群馬県魅力を調べ、その写真をWebページから探し共同編集を行う。

### 【事例におけるICT活用の場面①】

- 魅力については、①自然、②建物、③食べ物、④祭りの4つテーマに着目させる。
- 4つのテーマを分担して調べ、調べる人とレイアウトを決める人など、班の中で役割分担をして調べ学習を進める。調べ、まとめる時間は20分とし、その後全体発表する。
- 魅力発表シートとして1枚にまとめる。レイアウトは班ごとに工夫する。

### 【事例におけるICT活用の場面②】

- 班ごとに見つけた魅力を紙に書き、黒板に掲示することで各班で取り上げた魅力を比べられるようにする。
- 作成した魅力発表シートを大型提示装置に表示し、班の代表者が画面を見ながら発表する。

○各班の発表を聞いて、群馬県魅力について自分との関わりで振り返る。

### 【全体で交流する】

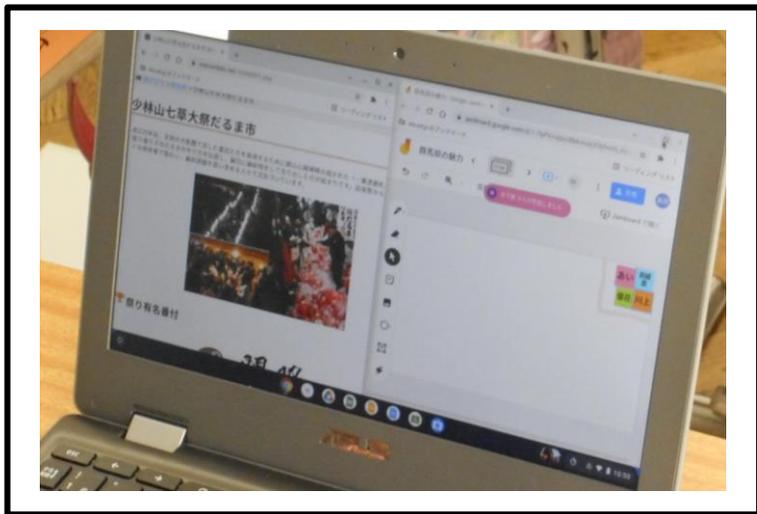
群馬県魅力を端末を使用して  
発表する

### 【まとめる】

本時の学習について振り返る

# 【社会・小4・「きょう土の伝統・文化と先人たち」②】

## 【事例におけるICT活用の場面①】



- ウェブブラウザを利用して群馬県の魅力を検索する。魅力を表現している写真を見付ける。
- 児童は分担して検索することができるため、個々のペースで学習を進めることができる。
  - ・検索が苦手な児童は、友達から検索のためのキーワード教えてもらいながら活動を行っていた。児童同士で協力した取組が見られた。

## 【事例におけるICT活用の場面②】



- ホワイトボードソフトを利用し、見つけた写真を貼り付け、魅力発表シートを共同編集する。レイアウトは班ごとに工夫する。
- ホワイトボードソフトで共有されているので班員は作成経過を見られ、アドバイスしながら共同編集することができる。
  - ・検索やシート作成の場面で自然と児童同士の話し合いが生まれた。
  - ・班長を中心に児童だけで役割分担をし、20分間で1枚の魅力発表シートを作成していた。作業の間は相談する話以外はなく、主体的な取組が見られた。

【活用したソフトや機能】  
○ウェブブラウザ  
・検索  
○ホワイトボードソフト

↑ 各班で作成した魅力発表シート→

班ごとにレイアウトを工夫してまとめていた。各班の思いのつまった、魅力発表シートとしてまとめられていた。

